金型業M&A戦略セミナー~優れた技術を成長分野へ~

第1講座

再々編期の金型業界。 進むM&Aとその狙い

海外メーカーの台頭等の流れから国内回帰や統合等の業界再々編が進んできています。本講座では現在の金型業界の 時流に加えて、これからの生き残り・成長に繋がる選択肢の一つである「M&A」について解説。

株式会社船井総合研究所 製造業商社支援部 マネージング・ディレクター 藤原 聖悟

創業来の金型技術をM&Aによって 成長分野[EV·医療]へ

第2講座

金型業の譲受及び譲受企業の経営支援に取り組んでいる 株式会社新栄工業と実際にグループインをされたアポロエ 業株式会社にインタビュー形式でお話いただきます。

特別ゲスト講座

株式会社新栄工業 代表取締役社長

中村 新一氏



第3講座

技術·設備·歷史。 シナジーを生む金型業ならではのM&A

現在の金型業界は業界再編が進んでおり、そのひとつの選択肢としてM&Aも多く行われています。ではどのようにM& Aを検討すれば良いのか?本講座では金型業界のM&Aをご紹介。

篠原 隆介 株式会社船井総研あがたFAS

セミナー詳細

2025年 3月13日(木)

15:00~17:00

(ログイン開始:開始時刻30分前~)

2025年 3月14日(金)

13:00~15:00

13:00~15:00

オンライン開催

お申込み期日

無料



お申込み方法

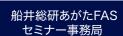
【QRコードからのお申込み】

右記QRコードからお申込みください。



https://www.funaisoken.co.jp/seminar/125550

船井総研ホームページ (https://www.funaisoken.co.jp) の 右上検索窓に「125550」をご入力し検索ください。



E-mail fas-seminar-support@fa-fas.co.jp TEL 0120-901-080 (平日9:45~17:30) ※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。



株式会社新栄工業 代表取締役社長

株式会社船井総研あがたFAS 主催

譲渡企業

アポロ工業株式会社 取締役

2009年・2010年の再編(御三家再編)を超える 業界再々編が始まる!

ギガキャスト技術の到来

6部品・33工程が1部品・1工程へ

SDV開発競争の到来

車の性能がハードからソフト主体へ

2025年 本格的に始まる 業界 再々編

金型業M&A戦略セミナー~優れた技術を成長分野へ~ お問い合わせNo. S125550

Funai Soken Agata FAS

譲受企業

株式会社船井総研あがたFAS 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。

(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓にお問い合わせ『No.』を入力ください。) →

この金型業界の再々編期の新たな経営のヒントとなる、

『企業規模が大きくなったことで、顧客要望に応えやすくなりま

『小田取締役』

した。アポロ工業1社だけではキャパオー

ーになるような仕事

Q3

教えてください。新栄ホールディング

つ

たことを

グスのグル

金型業による金型業のM&A(譲渡・譲受)事例をご紹介!

▶ 事業所数: <2009年> 9.680所 → <2022年>4.357所へ減少

▶ 従業員数: <2009年>92,181人 → <2022年>77,035人へ減少

今後、産業構造の変化(EVの製造方法、ハードからソフト)による

国内金型需要の減少は、避けては通れない。

HANNO SEIMITS & &

事例をご

ルデ

イン

グス株式会社グル

ープの

飯能精密工業株式会社 プレス金型設計・製作、プレス加工・組立 試作から量産の ワンストップ対応会社

SHINEI HOLDINGS 新栄ホールディングス株式会社

株式会社新栄工業

金型設計から個別包装まで一貫対応する 金型設計・製作・金属プレス加工メーカー

アポロ工業株式会社

精密金型・治工具類の設計・製作から

 \square

APOLLO

プレス加工・組付作業まで一貫対応会社

く金型業がM&A戦略で成長するポイント>

譲渡した側のご子息や譲渡後も一緒に働く元オーナーとの関わり方、 アポロ工業株式会社 小田省一氏 は20 個人補償の解除や資金管理も含めてスムーズな事業承継を実施。 オーナー経営者の株式を第三者に譲渡しつつ

8年

の入社以来、先代社

により、売上が徐々に落ち込んできていました。

げられてる注目の企業です。 業にグループインすることに。オー 一 氏にインタビューを実施しました。

今回セミナー開催にあたり、アポロ工業株式会社 取締役

興したプレス業の会社です。特徴は精密金型の製作や旋盤を使用 ていました。入社した当時は鉄鋼製品の扱いが多く、自動車関係の 製品加工をしていましたが、リーマンショックの影響や震災影響 した「みんなができない技術」を提供していくことを理念に活動

『小田取締役』

事業概要を教えてください

Q1

を乗り越えたときに「従業員をこの社長になら任せていける」辞 大きな転機となることがありました。詳細は省きますがその転機 お客様のところに行くとよくやってくれているとほめてもくれる 魔者扱いされるだろう。」と感じていましたが、全然違いま し、悩みを相談 すると一緒に取り組んでもくれました。そんな中、

アポロ工業は今の中村で三代目になる会社で、うちの父と叔父が

ジー効果で業績を拡大している業界団体やメディアに多く取り上 を経験した中で、現在はアポロ工業の取締役に就任するだけでな 核として活躍中。新栄ホールディングス グループは、3社のシナ することを聞かされ、中村 新一氏が代表を務める株式会社新栄工 長のもとで実務に従事。2020年の年始に突然、父からM&Aを ルディングス株式会社にも在籍し、グループ企業の中 -後継者の立場からM&A

『小田取締役』

Q2

当時社長であるお父様から

「M&A(会社を譲渡)」したと伝えられた時の 心境を教えてください

の様子もわからないし、1 員からしたら、私も承知の上でM&Aを進めて 中村社長にも敵対心しかなく、 父から正月にM&Aの契約が完了 周囲の誰にも伝えないル 中村社長と会話をする前は、私が先代社長の親族であるため「 ただき、私が当初思って なく、「一緒に成長していきたい 」という思いを頻繁に口に た。そうした中で中村社長と会話する機会も多くあり、押し付けで める準備もしながら、社長の思いも受け入れる努力もしてみまし て、自分も知らなかったことを伝えました。とはいえ、新しい社長 たため、M&Aをした最初のうちは従業員から私にクレ うかしか考えられないくらいの衝撃がありました。それから、従業 て「ふざけるな」 父はM&Aを進めるにあたって、原則であるクロージングまでは こと感情があらわになりました。そのため、当初は いたイメージと随分と違うな・・・と。 ヶ月間は様子を見るようになだめ、 ルを忠実に守っていました。そのため、 、従業員を連れてどのように した話を聞いたとき、突然すぎ いたと思われて 辞めよ ムが来

こんなお悩みをお持ちの方は是非ご参加を

技術交流なども定期的にあり、伸び伸び

した雰囲気でいいです

最後に、今後M&A(譲渡・譲受)をお考えの最後に、今後M&A(譲渡・譲受)をお考えの

い環境になっているのではないかと思います。グループ企業間で

—効果も出てきています。人材教育という観点でも成長しやす

能精密工業(もうー社のグループ会社)と一緒に仕事をするシナ 今まで新栄工業の顧客からもアポロ工業にも仕事をいただき、飯 現することができました。数字の点でも、売上規模も

· 5倍に

なってきており、将来的には2倍くらいまでは伸びる見込みです。

き、現地に拠点まで獲得でき、新規顧客の獲得による受注拡大を実 からご相談があった際には中村社長と同時に訪問することがで 量もグループ全体でこなすことができます。また、九州などの遠方

『当然ケースによって違いはあると思いますが、迷っている方が

『小田取締役』

- □ 会社の資金繰りや資金調達全般はオーナーしか 触ってこなかったので、資金管理の承継が難しい
- □ 後継として経営者になってもらいたいが、いろいろな リスクを考えると思うように承継が進められない

 - •2025年3月14日(金)13:00~15:00 •2025年3月18日(火)15:00~17:00

- □ 社員に会社を引き継ぎたいが、個人保証や譲渡金額 がネックになり、なかなか事業承継を進めることが できない

開催日程

- ・2025年3月13日(木)15:00~17:00
- •2025年3月19日(水)13:00~15:00

るようになります。 れを継続していくことで、従業員の人が までのやり方を尊重しながら、提案していくことが大事だなと。そ ので。M&Aをする側の場合、グループジョインしていくので、今 はいいかもしれないですね。従業員は急な知らせで戸惑っている と、まずは一回、M&Aをした側の意見を受け入れてみるというの される側も、する側も経験できました。される側の気持ちからする わってきて、グルー 残ること」もでき、本当にい わると感じています。安心して たし会社もM&Aをすることで「従業員の方の働き方・意識」も変 ます。私の場合は、M&Aにより「一人で悩むこと」がなくなりま おられればまずは色んな所でお話を聞いてみることが良いと思い - プ会社はい 。絶対にやってはいけない いことだらけで従業員の目の色も変 いと感じて いただければと。また、私は「社内に います。自分はM&Aを い意味で尊敬

てこのまま任せて行きたい」と思い、現在に至ります。』

めて従業員と苦しい思いをするのであれば「新栄工業の一員と

きます。M&Aは企業を成長させるために、 お互いを尊重することで規模・技術・対応力を含めて、プラスに働 ともて有効な手段と感

株式会社新栄工業

中村 新一氏

アポロ工業株式会社 取締役 小田 省一氏